

KURASHIKI NOREN PROJECT

倉敷のれんプロジェクト

【3年課題研究】

日本遺産の認定をうけた「繊維のまち倉敷」の繊維産業の歴史や文化を学び、企画や縫製の技術を活かした取り組みで倉敷の街並みを生徒が制作したのれんで、地域の活性化に役立てることを目的とした。授業では、市場調査を含めデザイン、縫製の仕組みなどを学習し、実際に店頭に展示することでより実践的な学習の経験となった。

今後も倉敷のれんプロジェクトとして継続的なのれんの展示ができるように課題研究で取り組んでいきたい。

倉敷民芸



手仕事の木・竹工芸品のお店 木や竹、つるなどでつくられた自然素材ならではの温かみを感じる手仕事の品を扱っている。

(有)今井印房



倉敷駅前にある創業70年の印房 熟年の職人技で厳選された印材に大切な印章の彫刻をしている。

市場調査・店内の様子



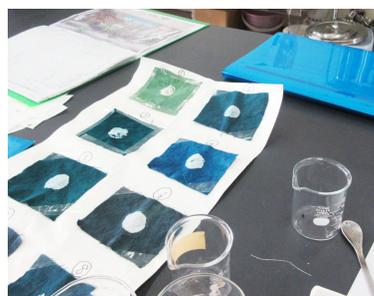
店内の様子を見学し、のれんのイメージについて検討している様子。



夏に設置してあった日よけのサイズを計測し、のれんのサイズの参考にした。



制作工程



各店舗の立地条件を配慮し、のれんの素材となる生地選びから始めた。商店街にある倉敷民芸は、イメージカラーのあさぎ色に綿シャンタン生地を染色し、倉敷の美観地区らしいなまこ壁をデザインしたのれんになった。倉敷駅前にある今井印房は、丈夫なデニム生地を使用し麻の葉紋様とロゴマークのデザインをシルクスクリーン印刷で仕上げた。